

第2回芝山町総合教育会議 議事録

開催期日 平成27年7月22日(水)
15:57~17:34
会 場 芝山町 南庁舎 2階第1会議室

出席委員

相川町長、内田教育長、伊橋委員(職務代理)、小川委員、坂井委員、鈴木委員

関係部署出席者

教育課 関谷課長、秋庭学校教育係長

総務課 小川企画政策担当課長、高橋財政担当課長、行方副主幹、秋庭財政係長

福祉保健課 文違課長

事務局

総務課 佐久間課長、井上行政係長

1. 開会 総務課長
 - ・総合教育会議の公開及び傍聴について(今回の傍聴者なし)
2. あいさつ 相川町長
3. 協議・調整事項
 1. 芝山町の教育に関する大綱について(資料1)
 - ・芝山町の教育に関する大綱について
(事務局より説明)

意見・質疑

(鈴木委員)

・教育大綱の作成について、素早く作成していただきありがたい。大綱の4本柱については、良いと思う。各柱の内容(細部)についてこれから詰めていくのが良い。文科省のほうでは、10万人都市を想定して計画等を策定している。先日千葉県で行った研修では、10万人規模以下の団体が多いので、小さい団体の中でこのような大綱を速やかに作成していただいたのは感謝している。

(町長)

・大綱の各柱について了承いただいたが、各柱の内容についてはいかがか？

(鈴木委員)

・大綱って大きな枠組みとして捉えていくものなので、この4本柱で良いのでは。

(町長)

・前回の会議の中で、大きな枠組みとして協議したが、その内容として中身を加えて委員の皆様へ提示させていただいた。

(小川委員)

・「新芝山小」の記載については、私から提案したところである。必ず大綱に明記してほしいという訳ではないが、今回の芝山小の統合についても10年かかっている。将来的なことも考えて町長のお考え(意向)について伺いたい。

(町長)

・新生芝山小学校として、3校が統合して本年4月に誕生した。耐用年数的には、あと10年位と聞いている。ストックマネジメント的にも修繕等しながら維持する方向だが、20年、30年も利用していくのは難しい。そのため新築しなければならない時期が来る。現在の位置にするか、否かというのは、地域の方の思いもあると思う。ここで今私が発言しないほうが無難である。

(小川委員)

・統合についても「統合準備委員会」という組織を設置したが、芝山小学校の新築にあっては、そのような委員会を設置するのか？教育委員会が主体となって教育委員会の責任において方向性を出すのか？

(町長)

・教育委員会が一定の方向性をもって、町の教育の場所は「ここだ！」というような自信をもって提示できる体制を整えなければならないと思う。芝山小の統合も10数年経過して今回に至っている。今年やろうと思ってもすぐにできない。10年、15年の仕事の中で進めていかなければならない。今から教育委員会の中で新築等の議論を深めていっていただきたい。

(総務課長)

・教育行政資産(鉄筋コンクリート造)として耐用年数は、60年となっている。

(財政担当課長)

・耐用年数60年であると、平成43年が期限である。(あと16年)

(町長)

・SM事業(ストックマネジメント)も考慮して、維持管理しながら施設の延命措置を図っていくことも必要である。

(総務課長)

・財政で行う、総合管理計画にて、公共施設の管理についてどのように進めていくのかスタートするので、教育資産であるため、総合管理計画策定の中でも教育委員会で、一定の方向性を提示しなければならないと思う。

(町長)

- ・まず、理想を語っていただきたい。理想に近づけるように教育委員会の中で、協議したものを、総合教育会議で提示してほしい。
- ・教育大綱について各柱の内容についても今回策定に加えることで良いのか？

(総務課長)

- ・今回の4本の柱は、町の総合計画(行動計画)を基に作成している。
- ・各柱の内容については、すべてがリンクしているわけではない。総合教育会議独自の部分が盛り込んであったり、引用している部分もある。町の総合計画(行動計画)の中より男女共同参画やワークライフバランスに関係するものも明記している。事務局としては、大綱の提示について4本の柱の内容についても公開したいと考える。

(坂井委員)

- ・各柱の内容については、私も意見させていただいたところであるが、すっきりシンプルにまとめており、よいと思う。
- ・また、字句の中で「町」と「まち」のように違っているのは、1つの単語、別な言葉として明記しているのか？

(町長)

- ・字句を変えているのは、大綱の思いや、やさしさを考慮して明記をさせていただいている。

(鈴木委員)

- ・本町は高等学校が無いが、幼保小中高などとの交流については、どうお考えか？

(総務課長)

- ・柱の2にあるように、近隣の大学などとの交流についても考えられる。
- ・先ほどの細部の字句については、修正して後日通知によって確認したい。

(町長)

- ・大綱の見直しについては、その際に総合教育会議を開催するのか？PDCA サイクルにて検証し、見直すこともあるのか？

(総務課長)

- ・常に検証は必要ですので、その都度に総合教育会議にて協議、検討していく。
- ・本大綱については、今回の意見を基に軽微な修正をしたものを各委員の皆様にも再度提示させていただく。また、9月の全員協議会にて議会への報告をし、町ホームページ等で公開する予定である。

(鈴木委員)

- ・この大綱については、直接の教育現場(学校)の校長などの意見は反映しなくても良いのか？(参考意見として)

(総務課長)

- ・教育委員会内部にて、各学校に報告していただければ良いと思う。

(内田教育長)

・大綱は、町が策定するものなので、それに沿った方向性に基づいた中で、学校教育を進めていくこととなる。

(町長)

・大綱については、策定後に各学校への報告や情報伝達等周知徹底していただきたい。

(教育長)

・大綱も策定したら変更できないわけではないので、進めてみて変更、修正をしていけば良いと思う。

(鈴木委員)

・大綱の部分で意見するのはいかがと思うが、せっかく、これからこの大綱で進んで行くというところで、先日の岩手の事件のように明日は我が身じゃないが、そのような部分を見落とさないように、この会議を進めていきたい。

(その他、意見質疑等なし)

2. その他（意見交換）

①奄美市との交流事業について

(総務課企画政策担当課長より説明)

(小川委員)

・今後、交流事業ということであるならば、小学生中学生の派遣、受入を行っていくのか？そのような想定のもとで、教育委員会で企画していくのか？

(企画政策担当課長)

・そのような方向も含めて進めていければと考えている。

(町長)

・今までの奄美市との交流の中で、「スポーツ大会」への招待の話があった。今年の9月の話なので、すぐ実現するかわからないが子供たちの意思を尊重しながら進めたいと考えている。

(坂井委員)

・以前オーストラリアの中学生研修が無くなってそれを惜しむ声があり、小学生の親から研修再開の意見がある。成田空港に近接し、国際交流・グローバル化などの言葉は聞くものの、実際に実施していたオーストラリア研修が無くなってしまうのは残念。奄美市については、芝山から見ても異文化の交流が図れると思うので、ぜひ実現に向けた展開をお願いしたい。

(鈴木委員)

- ・交流といっても、子供たちを送り出すのは学校。時間的余裕とか、現場の先生方の事情もあると思うので、無理の無い交流が図ればよいと思う。

(町長)

- ・無理のない意義のある交流を図っていければ良いと考える。先生方や子供たちの事情に対しても無理のない交流を図りたい。
- ・前向きに教育委員会にて奄美市との交流について進めていただきたいと考える。

(坂井委員)

- ・オーストラリアの際は、町からの補助にて保護者への負担軽減も取り組んでいただいたので、奄美市との交流についても前向きに対応いただきたい。

②給食費の助成について

(町長より政策方針の提示)

- ・第1子半額 第2子半額 第3子無料について
- ・子供たちの給食の充実と保護者の負担軽減、少子化対策を行っていくために実施したい。(H28.4～)

(小川委員)

- ・方針については賛成するが、給食費未納の保護者については、どのような対応なのか？

(町長)

- ・何年か前に県内給食費未納ワースト5に位置していた。様々な対策、対応で現在は、ほぼ収納できていると思われる。

(教育課長)

- ・本年度ベースで、約30名の未納者がいる。過年分を含めると延べ300万円程度の未納があると聞いている。

(内田教育長)

- ・来年度から実施との事だが、公平性を考慮して完全に支払ってもらおうとのことだが、やはり今までの未納者(滞納)の対応は慎重に取り扱うべきではないか？

(小川委員)

- ・半額にしたら、納付するのかと考えるかと思うとそうでもないように思える。未納対策もとつつ、町長の方針で行くということですかね？

(町長)

- ・給食センター運営委員会にも話しをして、H28.4月を目途に実施できるよう進めたいと考える。

③教育施設等の改修にかかる今後の方向性について

(教育課長より説明)

- ・学校教育施設、社会教育施設の現状と施設修繕の状況、改修計画の説明
(芝山小、芝山中の講堂耐震工事、校舎無線 LUN 工事、旧藪家の屋根改修、保健所指導に基づく給食センター改修等について)

(鈴木委員、小川委員)

- ・教育関係にかかる予算確保も厳しい状況だが、できるだけ実施の方向で進めてほしいと考えます。
- ・改修、修繕については教育委員、教育委員会の意見としては、ぜひお願いしたい。

(町長)

- ・保健所指導に基づく改修については早急に進めるべき、対応したい。

(小川委員)

- ・給食センターの今後、将来的についてどのようにお考えか？果たして芝山町に給食センターが必要なかどうか？(耐用年数的にも)

(財政担当課長)

- ・昭和58年に現在の位置に給食センターを開設して32年経過している。改修内容をみてもかなりの老朽化であり、町の課題である。

(小川委員)

- ・給食センター運営委員の中でも調整してほしい。

(町長)

- ・ただ、建替え新築工事だけでなく、少子高齢化も進む中で、広域での対応も含めて教育委員会の中で進めてほしい。

(総務課長)

- ・先ほども申し上げたように、教育委員会の中である程度のストーリーを描いた中で、この総合教育会議で諮るのが良いかと思います。

(町長)

- ・先進的事例について調査していただき、視察等行ってみたらどうか？

(小川委員)

- ・一部事務組合の対応もできるようだが、教育委員会事務局にて県内外の状況、事例を調査していただきたい。

4. その他

- ・学校司書の設置について(鈴木委員より)

学校図書館法の改正により、学校司書教諭の設置について明記された。

町内小中学校2校で、常駐でなくても良いので、配置をお願いする。

- ・学童クラブの現状について説明願いたい(鈴木委員より)

学童クラブ開設の経過について(文違課長より)

夏季期間の入所状況について

- ・次回会議の協議調整事項 大綱の策定について

・次回会議日程 10月19日(月) 13:30～

会場 芝山町南庁舎 第1会議室

終了時刻 17.34